

平成17年12月28日

登別市長 上 野 晃 様

総合計画第2期基本計画策定市民検討委員会  
委員長 石 井 憲 一

「総合計画第2期基本計画」策定に係る提言書の提出について

寒冷の候、貴職におかれましては、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、本年2月15日に第1回総合計画第2期基本計画策定市民検討委員会を開催し、早10ヶ月が経過いたしました。

当委員会は、「協働」に対して共通認識をもち、市より示された「総合計画第2期基本計画策定方針」に基づき、基本構想に示されたまちづくりの理念や5つのまちづくりテーマの実現を目指して、今後10年間に進めるべきまちづくりの施策について、6つの部会を設置し、議論を図りながら意見の集約を図り、第2期基本計画施策体系の素案を作成することとし、このたび、提言書として提出することとなりました。

これまで、3回の市民検討委員会と26回の部会を開催してきましたが、その間、市民検討委員会及び部会の議事録をホームページへの掲載や市役所市民コーナー及び市民会館、各支所に備え置いて、市民の皆さんに公開をしながら活動をしてきました。

私たちが作成した別紙素案には、少子高齢化社会を迎え「子育ての支援対策」や「高齢・障害者対策」、男女共同参画社会の実現を目指し「男女共同参画条例の制定」、恵まれた自然環境を守るための「環境保全対策」、地域経済の活性化を図るために「活力に満ちた魅力ある産業づくり」、人口減少社会に対応した「快適な都市空間生活空間づくり」、豊かな人間性と個性を育むために「生涯学習及び学校・家庭・地域教育の推進」、担いあうまちづくりを目指して「協働のまちづくりの推進」を謳っています。

この計画素案の作成には、各層の団体や多くの市民が参画し論議を重ねたものであることから、計画策定にあたっては、これらの意見を十分に反映されますことを要望します。

なお、計画策定にあたっては、誰もが計画の内容を理解し、計画に沿ってまちづくりを進めることが必要であることから、横文字(カタカナ)を極力さけ、わかりやすい文言にしていきたいと思っております。

また、多くの市民が参画し、この計画の策定に携わりましたが、計画策定後も計画の推進を市民の手で検証できるシステムの構築をお願いいたします。

最後に、市長におかれましては、提言書の内容を十分ご考察のうえ計画に取り入れるとともに、計画の実施にあたっては、市民の理解と協力を得ながら、効果的な施策の推進を図るようお願いいたします。